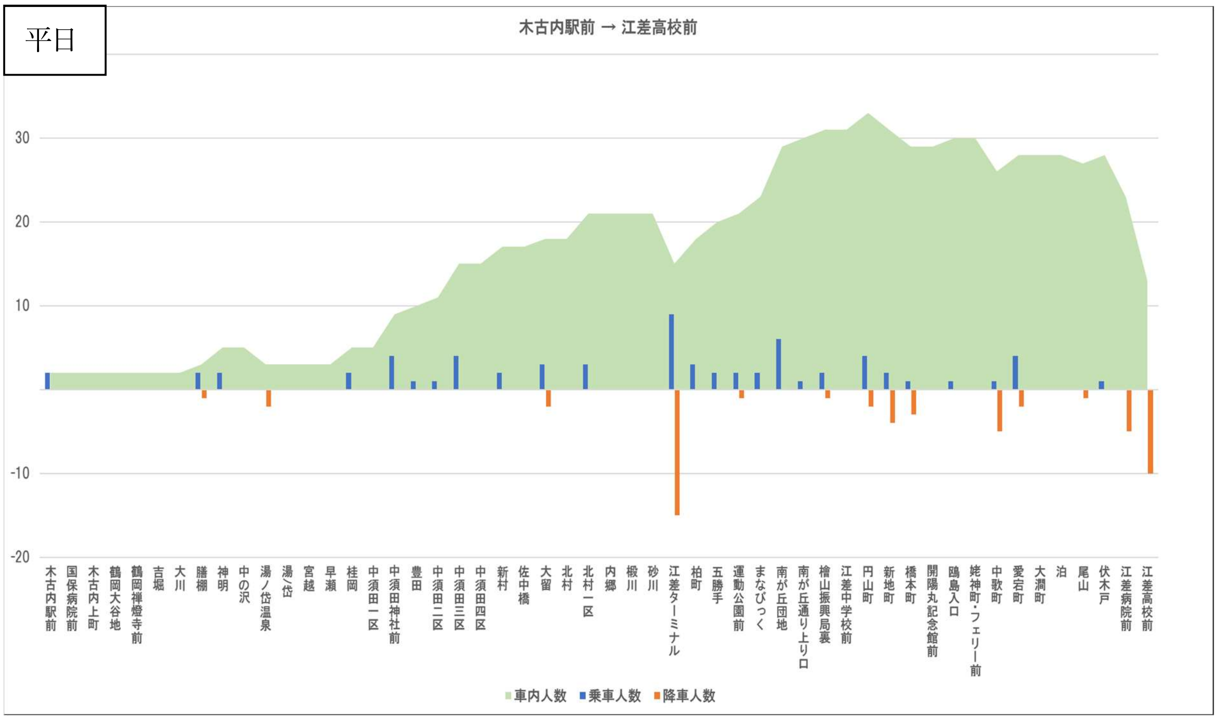
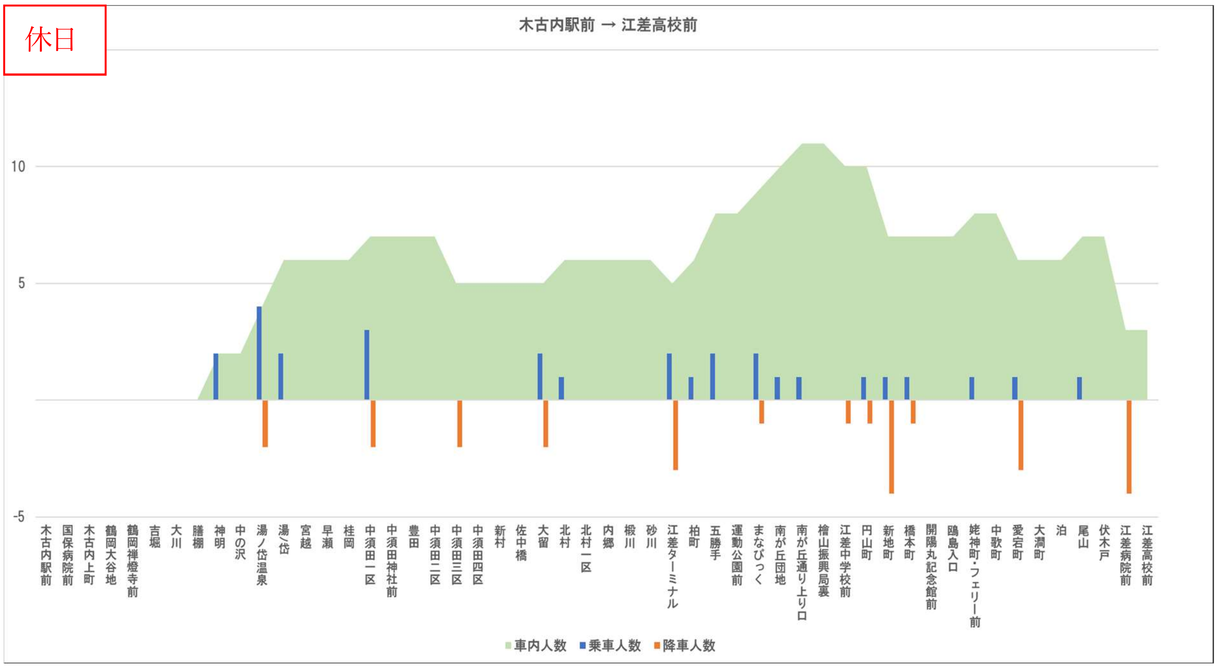
s　江差木古内線（広域生活交通路線）

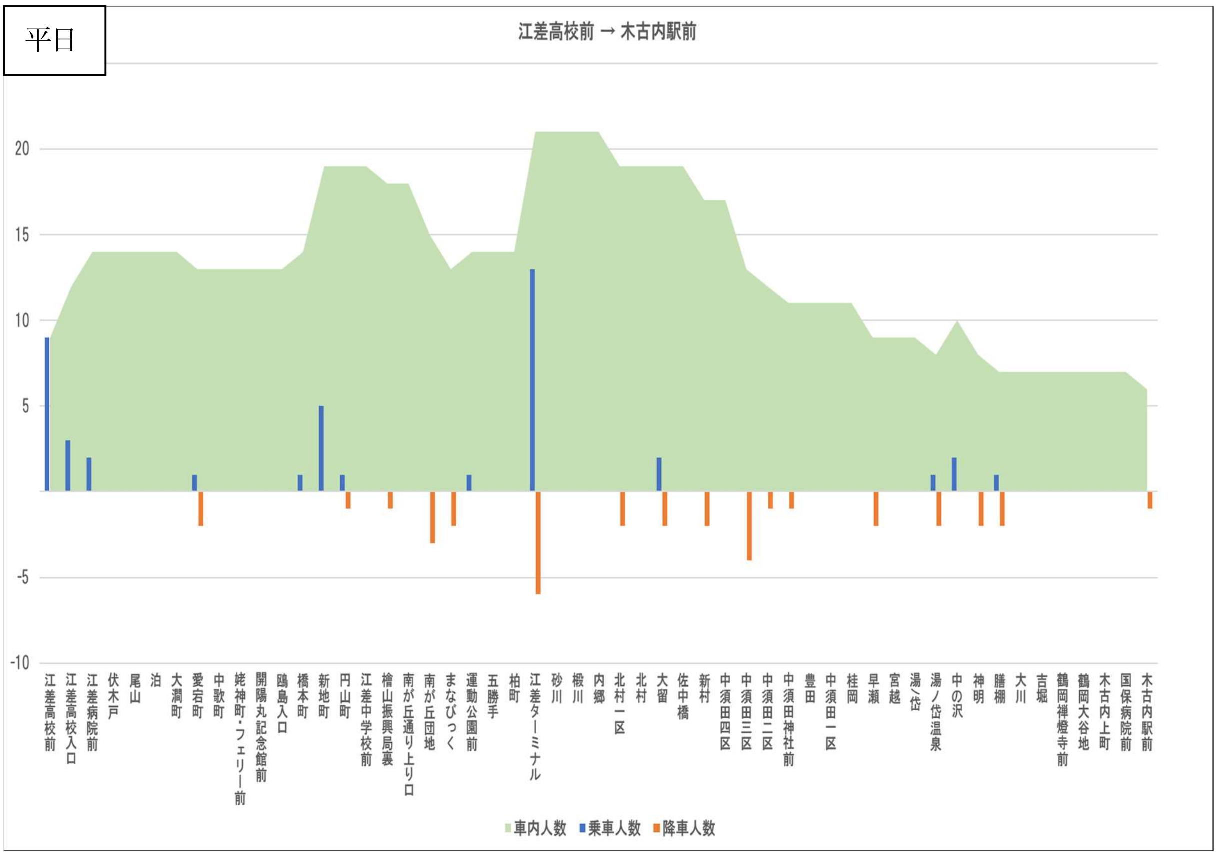
■利用者の合計は、次のとおり。
　　平日　木古内駅前→江差高校前　74 人
　　　　　江差高校前→木古内駅前　45 人
　　休日　木古内駅前→江差高校前　28 人
　　　　　江差高校前→木古内駅前　30 人
■乗降人数の多いバス停は、江差ターミナル、江差高校前、木古内駅前であった。

(a) 1日の利用状況

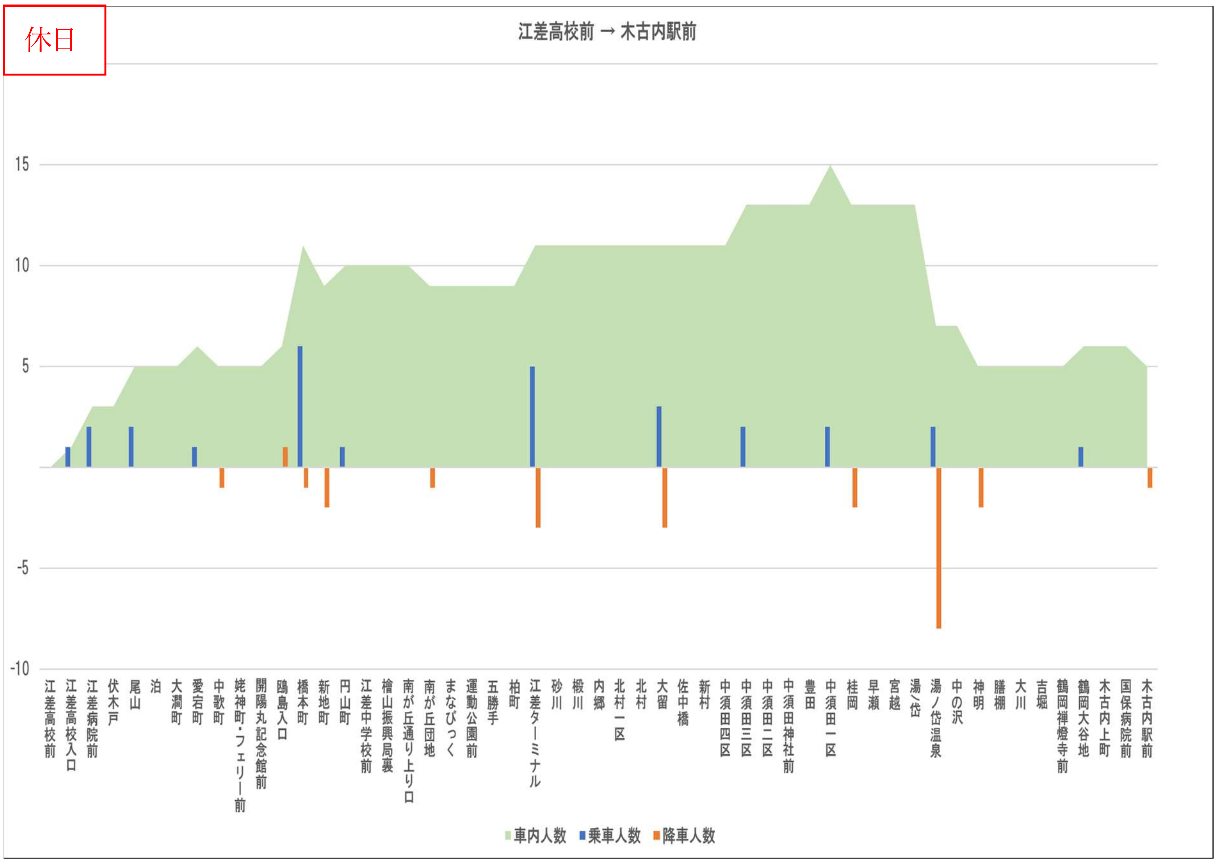




平日


江差高校前 → 木古内駅前
20
15
10
5
-5
-10
江差高校前
江差高校入口
江差病院前
伏木戸
尾山
泊
大澗町
愛宕町
中歌町
姥神町・フェリー前
開陽丸記念館前
鴎島入口
橋本町
新地町
円山町
江差中学校前
檜山振興局裏
南が丘通り上り口
南が丘団地
まなびっく
運動公園前
五勝手
柏町
江差ターミナル
砂川
椴川
内郷
北村一区
北村
大留
佐中橋
新村
中須田四区
中須田三区
中須田二区
中須田神社前
豊田
中須田一区
桂岡
早瀬
宮越
湯ノ岱
湯ノ岱温泉
中の沢
神明
膳棚
大川
吉堀
鶴岡禅燈寺前
鶴岡大谷地
木古内上町
国保病院前
木古内駅前
車内人数
乗車人数
降車人数

休日


江差高校前 → 木古内駅前
15
10
5
-5
-10
江差高校前
江差高校入口
江差病院前
伏木戸
尾山
泊
大澗町
愛宕町
中歌町
姥神町・フェリー前
開陽丸記念館前
鴎島入口
橋本町
新地町
円山町
江差中学校前
檜山振興局裏
南が丘通り上り口
南が丘団地
まなびっく
運動公園前
五勝手
柏町
江差ターミナル
砂川
椴川
内郷
北村一区
北村
大留
佐中橋
新村
中須田四区
中須田三区
中須田二区
中須田神社前
豊田
中須田一区
桂岡
早瀬
宮越
湯ノ岱
湯ノ岱温泉
中の沢
神明
膳棚
大川
吉堀
鶴岡禅燈寺前
鶴岡大谷地
木古内上町
国保病院前
木古内駅前
車内人数
乗車人数
降車人数

(b) 便別の利用状況

＜木古内駅前 → 江差ターミナル＞

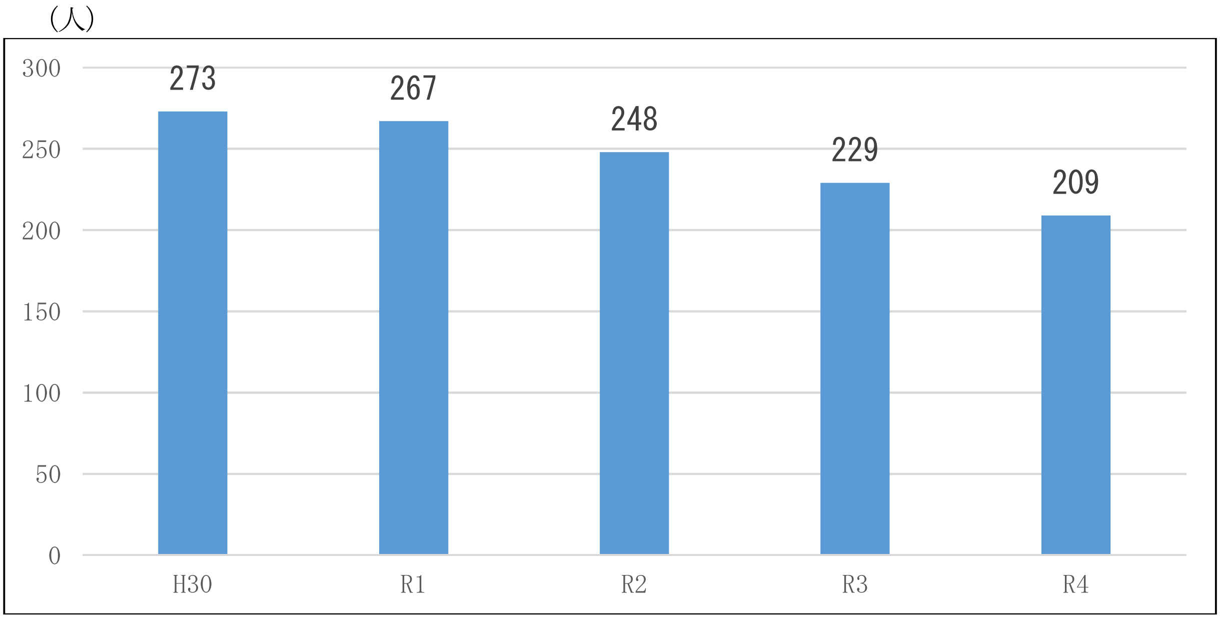
始発時間	平日	休日
06:19発	33	5
09:16発	31	15
11:07発	7	5
15:05発	1	4
16:41発	2	1
18:12発	0	0

＜江差ターミナル → 木古内駅前＞

始発時間	平日	休日
05:50発	2	1
07:45発	0	0
10:00発	8	10
15:12発	12	8
15:12発	18	1
18:46発	5	8

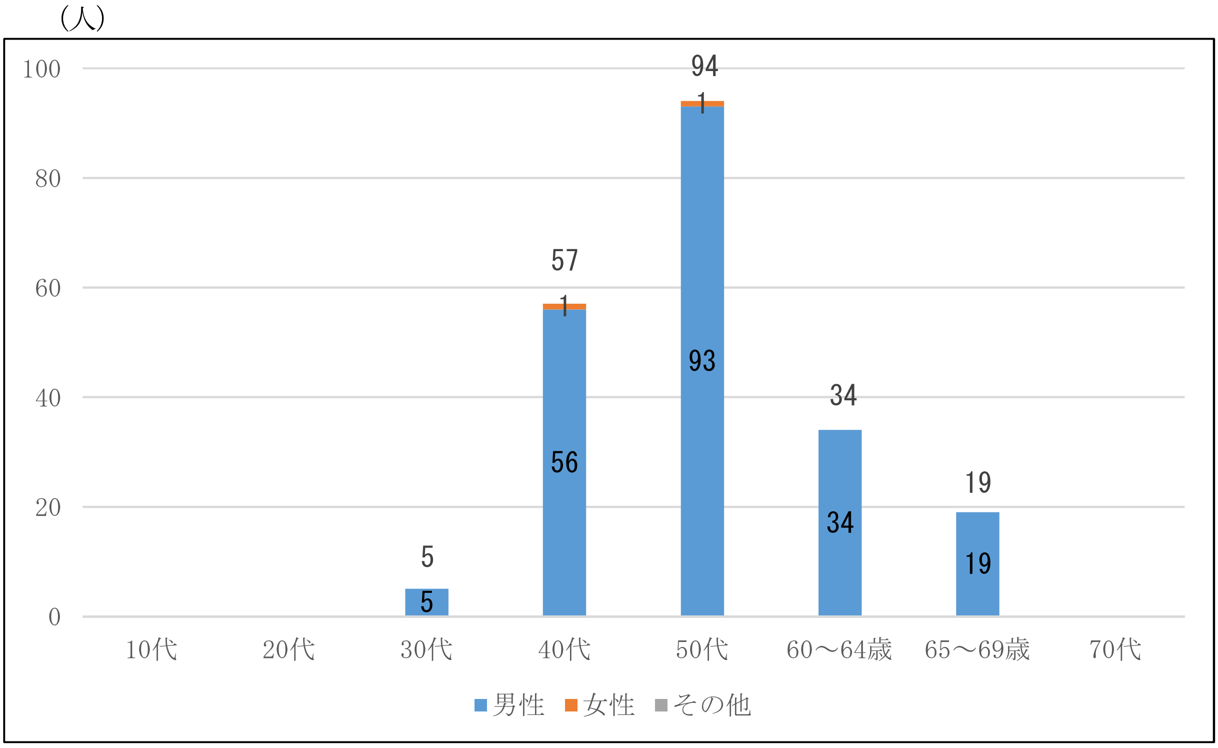
オ　路線バス運転手

本地域の広域路線を運行するバス会社の運転手は年々減少しており、また、運転手のうち 97.6%が 40 歳以上、25.4%が 60 歳以上である。



【出典】函館バス(株)資料を加工して作成

図 4-12 道南地域における広域路線を運行するバス会社の運転手数の推移



【出典】函館バス(株)資料を加工して作成

図 4-13 道南地域における広域路線に係るバス運転手の年齢構成（R4 年度）

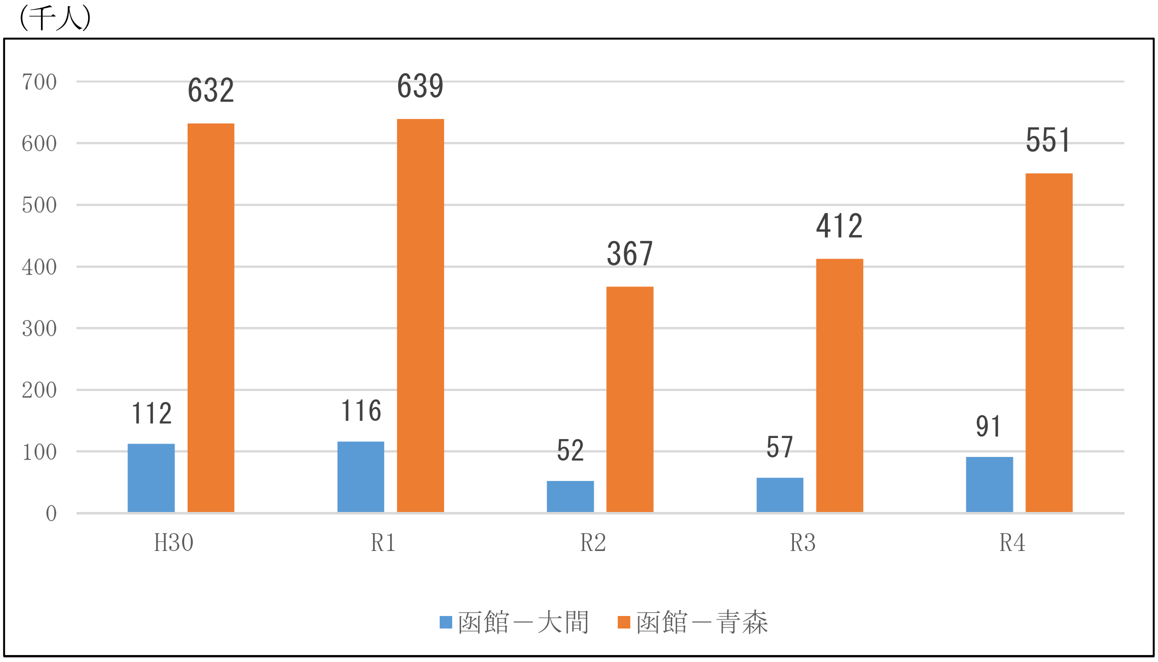
⑹ フェリー航路

本地域では、函館港と道外を結ぶ旅客航路と、北海道本土と奥尻町を結ぶ離島航路が運航されており、地域住民や観光客の移動手段のほか、物資の輸送などの役割を担っている。

ア　道外航路

函館港から青森港と大間港への航路が運航されており、函館市への通院など生活に必要な移動のほか、観光客の移動手段として利用されている。また、鉄道貨物とともに、重要な物流手段としての役割を担っている。

両航路の利用者は平成30年度（2018年度）には約74万人であったが、人口減少や新型コロナウイルス感染症による観光客の減少等により、令和２年度（2020年度）に約42万人まで減少、令和４年度（2022年度）には約64万人に回復している。



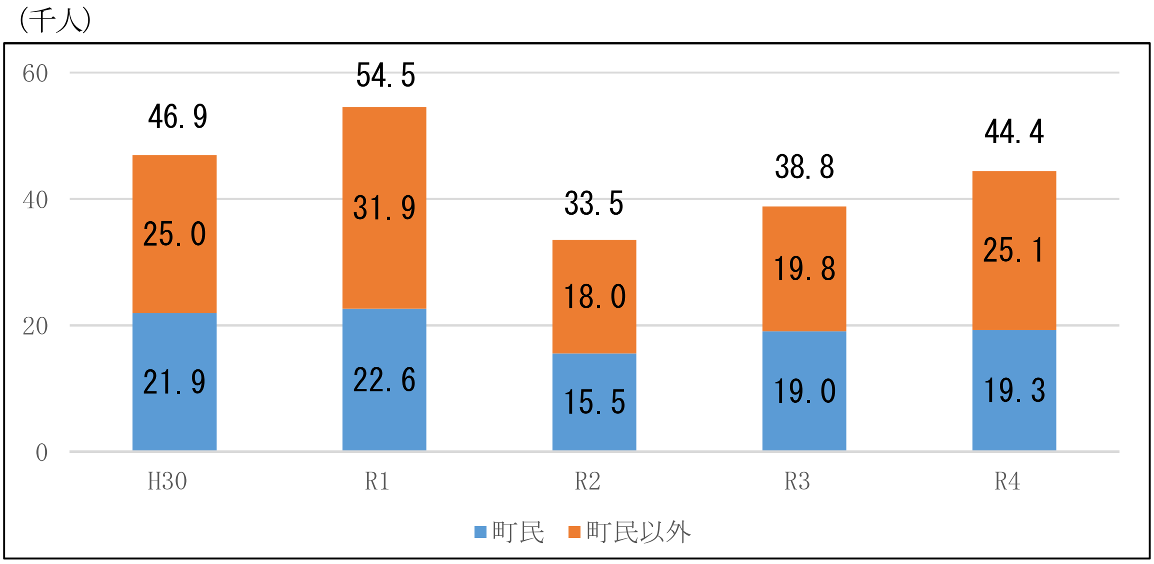
【出典】北海道運輸局函館運輸支局資料を加工して作成

図 4-14 道南地域における道外航路の年間輸送人員の推移

イ　離島航路

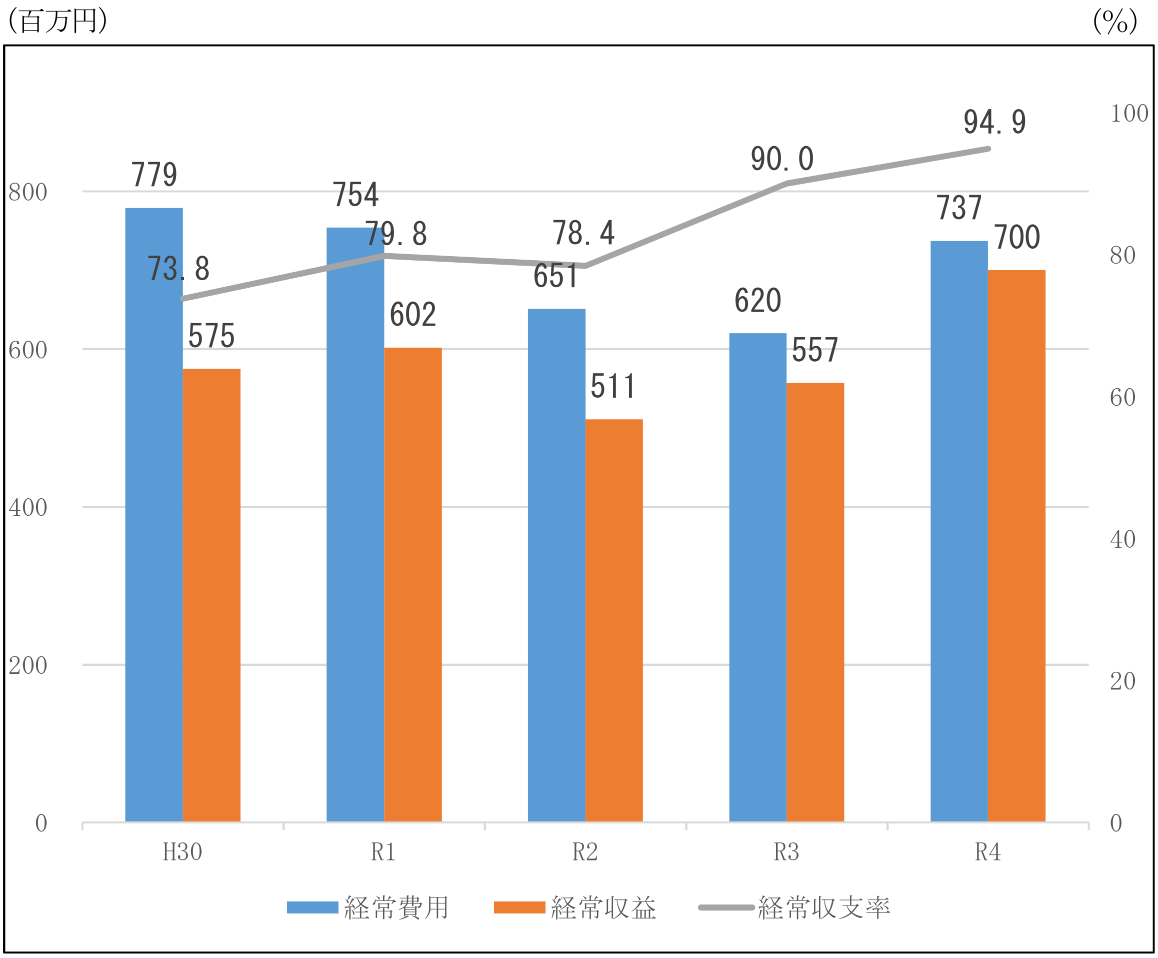
北海道本土と離島の奥尻町を結ぶ「江差ー奥尻航路」が運航されており、地域住民や観光客の移動、生活物資等の輸送などに不可欠な交通手段となっている。

離島航路の利用者は平成30年度（2018年度）には約4.7万人であったが、人口減少や新型コロナウイルス感染症による観光客の減少等により、令和２年度（2020年度）に約3.4万人まで減少。現在は回復傾向にあるが、収益の悪化に伴い、令和３年（2021年）10月運航分から国・道・奥尻町の補助を受けて運航している。



【出典】北海道離島航路確保対策協議会資料を加工して作成

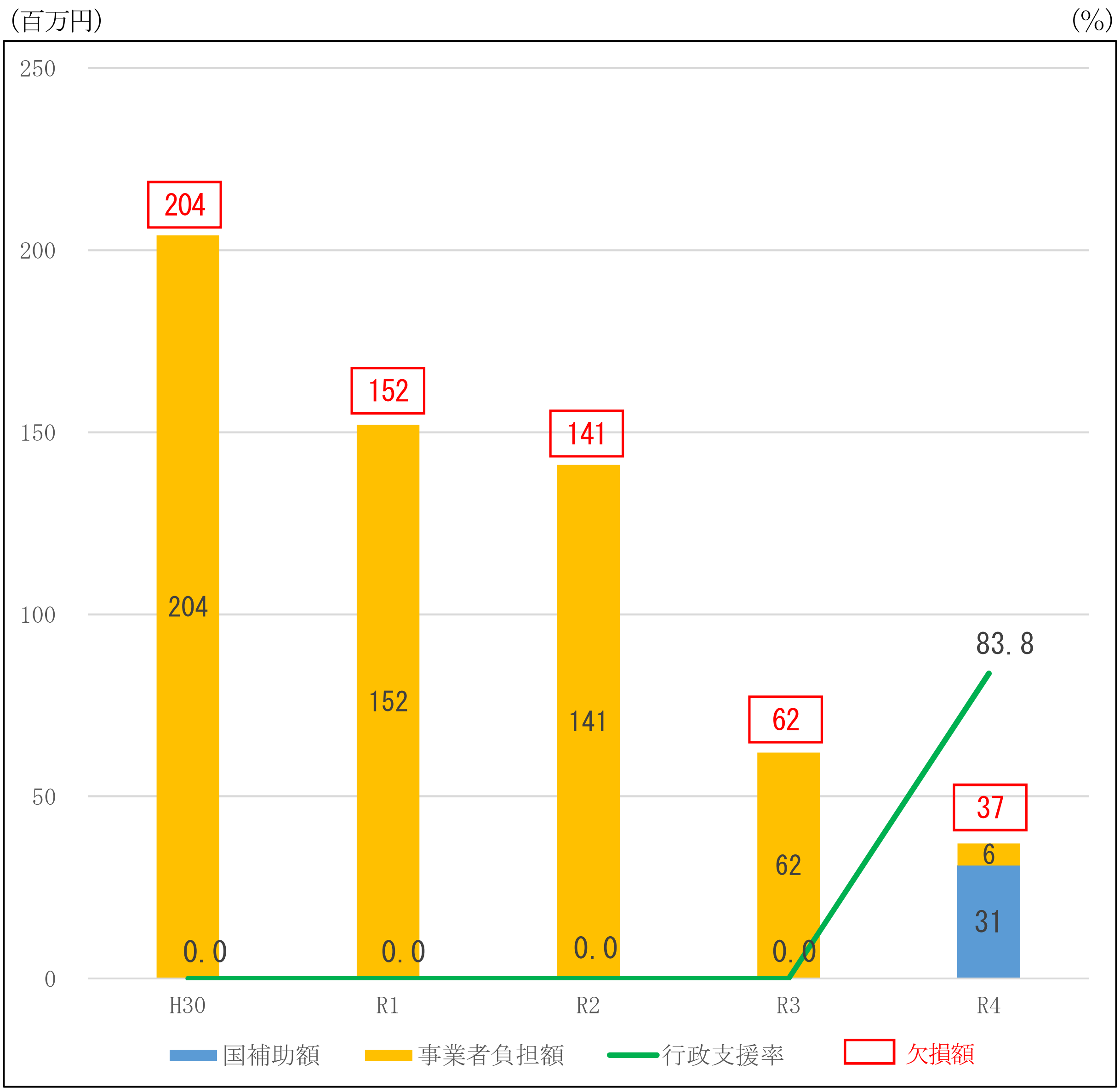
図 4-15 道南地域における離島航路の年間輸送人員の推移



※H30～R3 は、４月～翌年３月の実績、R4 は令和３年 10 月～令和４年９月の実績

【出典】北海道離島航路確保対策協議会資料を加工して作成

図 4-16 道南地域における離島航路の経常収支の推移



【出典】北海道離島航路確保対策協議会資料を加工して作成

図 4-17 道南地域における離島航路の欠損額と補助額の推移

(7) タクシー

本地域には６つの営業区域があり、人口減少等に伴い、年間輸送人員は全ての区域で減少傾向にある。
タクシーを利用することにより希望の時間に希望の場所に移動することができ、ラストワンマイル対策などの多様な移動ニーズに対応できる公共交通として利用されているが、近年、路線バスから乗合タクシーへの転換が行われる場合など、新たな交通事業の運行主体としての役割を担う場面が増えている。

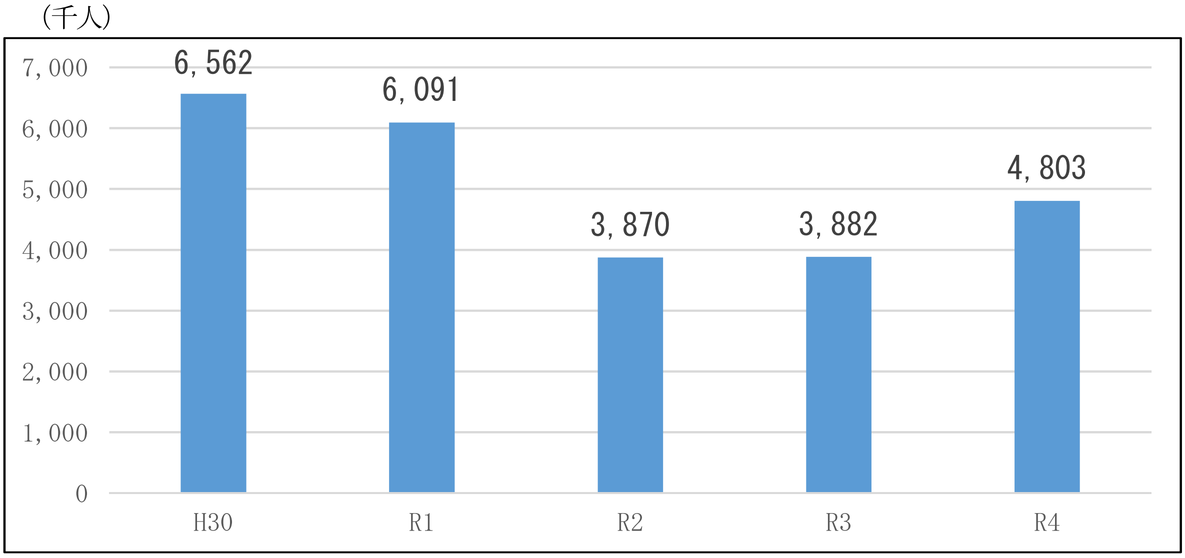
表 4-19 道南地域におけるタクシーの営業区域

区域名	営　業　区　域
函館交通圏	函館市（旧南茅部町を除く）、北斗市、七飯町
松前圏	松前町、福島町、知内町、木古内町
檜山圏	江差町、上ノ国町、厚沢部町、乙部町、八雲町（旧熊石町のみ）、今金町、せたな町
森圏	函館市（旧南茅部町のみ）、鹿部町、森町
八雲圏	八雲町（旧八雲町のみ）、長万部町
奥尻島	奥尻町

【出典】北海道運輸局函館運輸支局資料を加工して作成

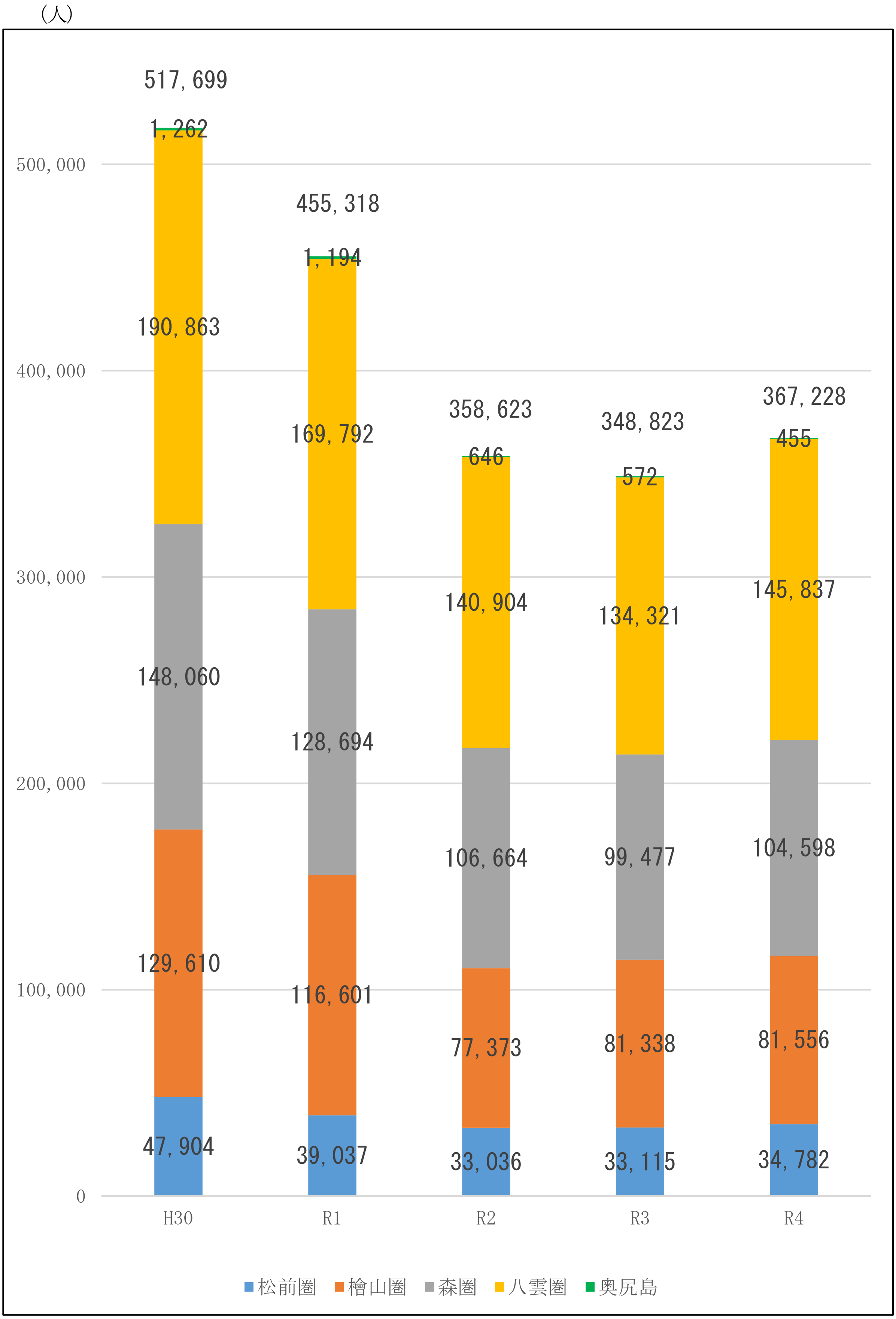
ア　年間輸送人員

人口減少や新型コロナウイルス感染症等の影響により、平成 30 年度（2018 年度）は約 656 万人であったが、令和２年度（2020 年度）に約 387 万人まで減少し、令和４年度（2022 年度）には約 480 万人に回復している。



【出典】北海道運輸局函館運輸支局資料を加工して作成

図 4-18 函館交通圏におけるタクシーの年間輸送人員の推移

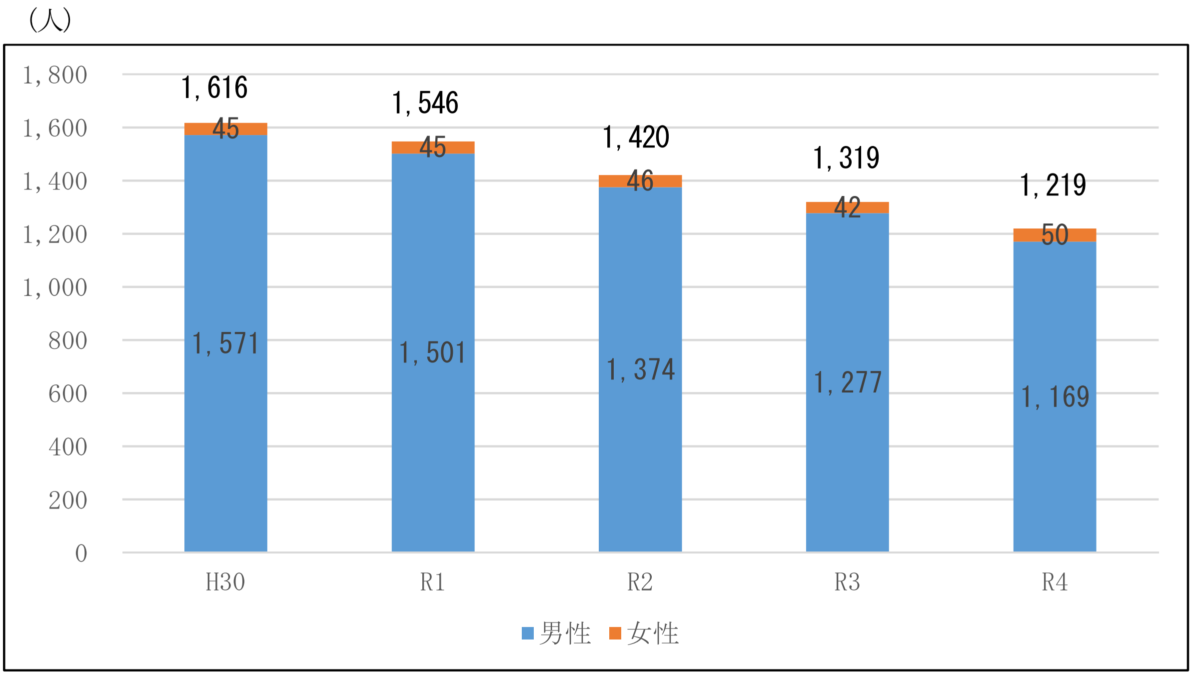


【出典】北海道運輸局函館運輸支局資料を加工して作成

図 4-19 函館交通圏以外におけるタクシーの年間輸送人員の推移

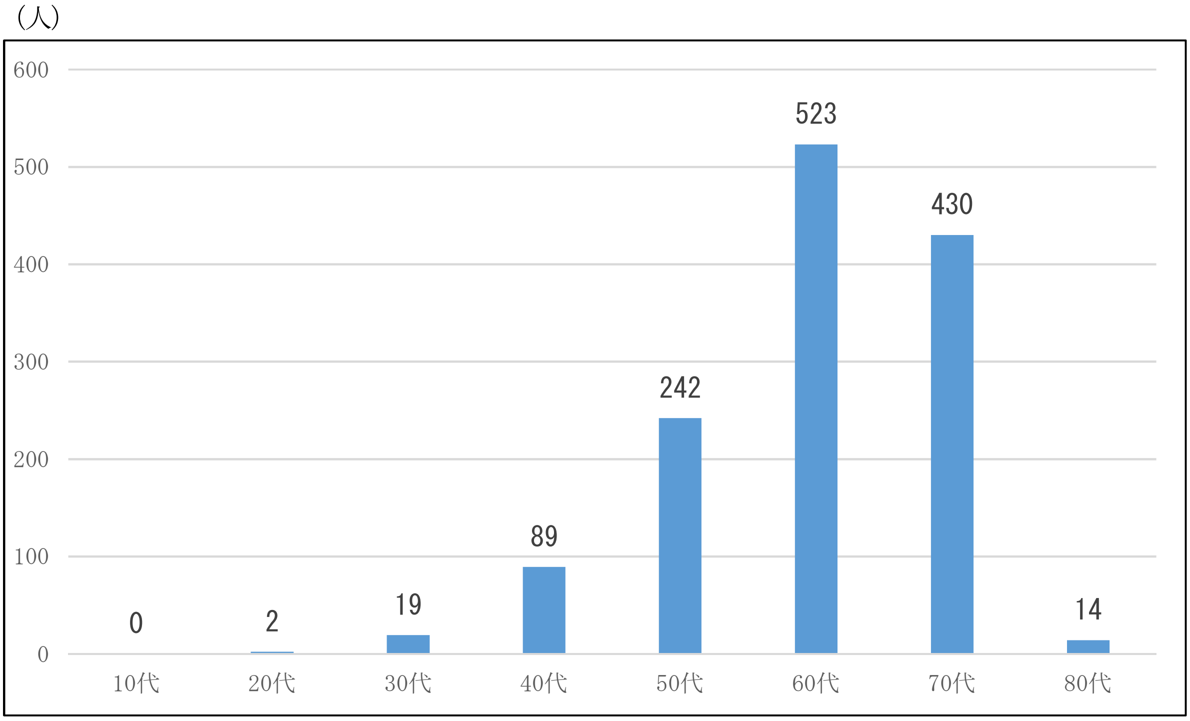
イ　タクシー運転手

本地域におけるタクシー運転手は年々減少しており、また、運転手のうち 98.4%が 40 歳以上、73.3%が 60 歳以上である。



【出典】函館地区ハイヤー協会資料を加工して作成

図 4-20 道南地域におけるタクシー運転手数の推移



【出典】函館地区ハイヤー協会資料を加工して作成

図 4-21 道南地域におけるタクシー運転手の年齢構成（R4 年度）

| 4-2 | 交通結節点

交通結節点は、路線バス同士などの乗継や、路線バスから北海道新幹線などの乗換の拠点であることから、公共交通の利用促進を図る上で重要な役割を担っている。
また、単に交通機関の乗換や乗継としての機能だけではなく、街のランドマークとしての機能も持ち合わせている。

(1) 交通結節点の状況

函館駅や新函館北斗駅など様々な交通モードに乗り継げるターミナル機能を有する大規模なものから、単一モードに乗り継ぐ小規模なものまであるが、いずれも交通結節点としての機能を有する。

表 4-20 道南地域における交通結節点

凡例　BC：バスセンター、T：ターミナル、FT：フェリーターミナル、SC：ショッピングセンター

市町名	結節点	運行事業者名	接続する路線(系統)名	
函館市	函館駅	北海道中央バス㈱・北都交通㈱・函館バス㈱	高速はこだて号（札幌駅前 T⇔湯の川温泉東）	
		北海道バス㈱	函館特急ニュースター号（市電すすきの前⇔上湯川）	
		函館バス㈱ ※地域間幹線系統のみ記載	上磯方面（10 番系統）	
				上磯線 19 系統（函館 BC⇔富川会館）
			大野方面（20 番系統）	
				大野線②④（函館 BC⇔新函館北斗駅）
				七飯大野循環線（函館 BC⇔七飯大野循環）
			七飯方面（30 番系統）	
				大川富岡線 30 系統（函館 BC⇔新函館北斗駅）
				七飯大野循環線（函館 BC⇔七飯大野循環）
				七飯富岡線 33 系統①（函館 BC⇔新函館北斗駅）
				函館鹿部線①（函館 BC⇔新函館北斗駅）
			亀田本町方面（40 番系統）	
			赤川方面（50 番系統）	
			鍛冶方面（60 番系統）	
			花園方面（70 番系統）	
			深堀方面など（80 番系統）	
			根崎方面など（90 番系統）	
				川汲鹿部線①（函館 BC⇔椴法華支所）

市町名	結節点	運行事業者名	接続する路線(系統)名
函館市	函館駅	函館バス㈱ ※地域間幹線系統のみ記載	川汲鹿部線②（函館 BC⇔鹿部出張所）
			鹿部方面（200 番系統）
			函館鹿部線②（函館 BC⇔鹿部出張所）
			森方面（300 番系統）
			函館長万部線（函館 BC⇔長万部 T）
			知内方面（400 番系統）
			函館知内線（函館 BC⇔知内）
			松前方面（500 番系統）
			函館松前線（函館 BC⇔松前出張所）
			江差方面（600 番系統）
			函館江差線（函館 BC⇔江差 T）
		北海道バス㈱	青函フェリー前⇔上湯川町
		函館タクシー㈱ 函館帝産バス	函館空港発着便(函館空港ー函館駅前ーﾎﾃﾙ WBF ｸﾞﾗﾝﾃﾞ)
			フェリーターミナル発着便(フェリーターミナルー函館駅前)
		北海道旅客鉄道㈱【JR】	函館本線（函館駅⇔旭川駅）
		道南いさりび鉄道㈱	函館本線（函館駅⇔五稜郭駅）乗入れ、道南いさりび鉄道線（五稜郭駅⇔木古内駅）直通
		函館市【軌道】	2 系統(湯の川線－大森線－本線－宝来・谷地頭線)
			5 系統(湯の川線－大森線－本線)
	五稜郭 （本町）	北海道中央バス㈱・北都交通㈱・函館バス㈱	高速はこだて号（札幌駅前 T⇔湯の川温泉東）
		北海道バス㈱	函館特急ニュースター号（市電すすきの前⇔上湯川）
		函館バス㈱ ※地域間幹線系統のみ記載	上磯方面（10 番系統）
			旭岡団地線（昭和⇔旭岡中学校）
			上磯日吉線 16A 系統（日吉営業所⇔富川会館）
			上磯線 19 系統（函館 BC⇔富川会館）
			大野方面（20 番系統）
			大野線②④（函館 BC⇔新函館北斗駅）
			七飯方面（30 番系統）
			大川富岡線 30 系統（函館 BC⇔新函館北斗駅）
			七飯富岡線 33 系統①（函館 BC⇔新函館北斗駅）
			川汲･鹿部方面（90 番系統）
			川汲鹿部線①（函館 BC⇔椴法華支所）
			川汲鹿部線②（函館 BC⇔鹿部出張所）
			木古内･知内･福島･松前方面（400 番･500 番系統）
			函館知内線（函館 BC⇔知内）
			函館松前線（函館 BC⇔松前出張所）

市町名	結節点	運行事業者名	接続する路線(系統)名
函館市	五稜郭（本町）	函館バス㈱ ※地域間幹線系統のみ記載	江差方面（600 番系統）
			函館江差線（函館 BC⇔江差 T）
		函館市【軌道】	2 系統(湯の川線－大森線－本線－宝来・谷地頭線)
			5 系統(湯の川線－大森線－本線)
	亀田支所前	北海道中央バス㈱・北都交通㈱・函館バス㈱	高速はこだて号（札幌駅前 T⇔湯の川温泉東）
		函館バス㈱ ※地域間幹線系統のみ記載	上磯方面（10 番系統）
			上磯線 19 系統（函館 BC⇔富川会館）
			大野方面（20 番系統）
			大野線④（函館 BC⇔新函館北斗駅）
			七飯方面（30 番系統）
			大川富岡線 30 系統（函館 BC⇔新函館北斗駅）
			七飯富岡線 33 系統①（函館 BC⇔新函館北斗駅）
			松前方面（500 番系統）
			函館松前線（函館 BC⇔松前出張所）
	湯倉神社前	函館バス㈱ ※地域間幹線系統のみ記載	旭岡団地線（昭和⇔旭岡中学校）
			川汲鹿部線①（函館 BC⇔椴法華支所）
			川汲鹿部線②（函館 BC⇔鹿部出張所）
		函館バス㈱	望洋団地線（新湊高台･函館共働宿泊所⇒湯倉神社前）
		北海道バス㈱	青函フェリー前⇔上湯川町
		函館市【軌道】	2 系統(湯の川線－大森線－本線－宝来・谷地頭線)
			5 系統(湯の川線－大森線－本線)
	函館空港	函館バス㈱	空港循環線（函館空港⇔亀田支所･五稜郭⇔函館空港）
			96 系統（函館駅⇔函館空港）
		函館タクシー㈱ 函館帝産バス	函館空港発着便(函館空港－函館駅前－ﾎﾃﾙ WBF ｸﾞﾗﾝﾃﾞ)
			五稜郭公園入口発着便(五稜郭公園入口－函館空港)
			新函館北斗駅発着便(函館空港－新函館北斗駅)
		㈲大沼交通	函館空港⇔大沼公園駅前
		日本航空㈱【JAL】	函館－札幌(丘珠)・東京(羽田)・大阪（伊丹)
		全日本空輸㈱【ANA】	函館－札幌(新千歳)・東京(羽田)・名古屋(中部)・大阪(伊丹)
		㈱AIRDO【AIRDO】	函館－東京(羽田)・名古屋(中部)
		㈱北海道エアシステム【HAC】	函館－奥尻
	川汲（南茅部支所前）	函館バス㈱	川汲鹿部線①（函館 BC⇔南茅部支所⇔椴法華支所）
			川汲鹿部線②（函館 BC⇔南茅部支所⇔鹿部出張所
			鹿部海岸線（鹿部出張所⇔古部）

市町名	結節点	運行事業者名	接続する路線(系統)名
北斗市	上磯駅 （上磯駅前通）	函館バス㈱ ※地域間幹線系統のみ記載	上磯日吉線 16A 系統（日吉営業所⇔富川会館）
			上磯線 19 系統（函館 BC⇔富川会館）
			函館知内線（函館 BC⇔知内）
			函館松前線（函館 BC⇔松前出張所）
		北海道旅客鉄道㈱【JR】・道南いさりび鉄道㈱	JR 函館本線・道南いさりび鉄道線（函館駅⇔木古内駅）
		(株)新星ハイヤー	茂辺地･石別･上磯線（駅⇔富川会館前⇔三ツ石） 上磯線（駅前⇔北斗市役所⇔三好会館）
	新函館北斗駅	北海道中央バス㈱・北都交通㈱・函館バス㈱	高速はこだて号（札幌駅前 T⇔湯の川温泉東）
		北海道バス㈱	函館特急ニュースター号（市電すすきの前⇔上湯川）
		函館バス㈱ ※地域間幹線系統のみ記載	大野線②④（函館 BC⇔新函館北斗駅）
			大川富岡線 30 系統（函館 BC⇔新函館北斗駅）
			七飯富岡線 33 系統①（函館 BC⇔新函館北斗駅）
			函館鹿部線①（函館 BC⇔新函館北斗駅）
			函館鹿部線②（函館 BC⇔鹿部出張所）
			函館江差線（函館 BC⇔江差 T）
		函館タクシー㈱ 函館帝産バス	新函館北斗駅発着便(函館空港－新函館北斗駅)
		㈲大沼交通	新函館北斗駅⇔大沼公園駅前
		北海道旅客鉄道㈱【JR】	北海道新幹線（新青森駅⇔新函館北斗駅）
			函館本線（函館駅⇔旭川駅）
		(株)新星ハイヤー	大野線（新函館北斗駅⇔総合分庁舎）
松前町	松前出張所	函館バス㈱	函館松前線（函館 BC⇔松前出張所）
			木古内松前線（木古内駅前⇔松前出張所）
			大漁くんバス（原口⇔白神）
	原口バス停	函館バス㈱	小砂子線（江差病院・江差高校⇔原口）
			大漁くんバス（原口⇔白神）
福島町	福島バス停	函館バス㈱	函館松前線（函館 BC⇔松前出張所）
			木古内松前線（木古内駅前⇔松前出張所）
		㈲山崎ハイヤー	町デマンドバス岩部線（千軒地区を除く町内全域）
知内町	知内出張所	函館バス㈱	函館松前線（函館 BC⇔松前出張所）
			木古内松前線（木古内駅前⇔松前出張所）
			函館知内線（函館 BC⇔知内）
			町デマンドバス（小谷石、中ノ川、上雷･湯ノ里）
木古内町	木古内駅	函館バス㈱	江差木古内線（木古内駅前⇔江差病院・江差高校）
			函館松前線（函館 BC⇔松前出張所）

市町名	結節点	運行事業者名	接続する路線(系統)名
木古内町	木古内駅	函館バス㈱	木古内松前線（木古内駅前⇔松前出張所）
			函館知内線（函館BC⇔知内）
		北海道旅客鉄道㈱【JR】	北海道新幹線（新青森駅⇔新函館北斗駅）
		北海道旅客鉄道㈱【JR】・道南いさりび鉄道㈱	JR函館本線・道南いさりび鉄道線（函館駅⇔木古内駅）
七飯町	七飯役場通バス停	北海道中央バス㈱・北都交通㈱・函館バス㈱	高速はこだて号（札幌駅前T⇔湯の川温泉東）
		函館バス㈱	七飯大野循環線（函館BC⇔七飯大野循環）
			大川富岡線30系統（函館BC⇔七飯⇔新函館北斗駅）
			七飯富岡線（函館BC⇔七飯⇔新函館北斗駅）
			函館鹿部線①（函館BC⇔七飯⇔新函館北斗駅）
			函館鹿部線②（函館BC⇔七飯⇔鹿部出張所）
			富川・三原台・大川線（函館大学前⇔ななえ新病院）
			三岱線（函館BC⇔七飯⇔森駅前）
			函館長万部線（函館BC⇔長万部T）
			函館長万部線311系統（函館BC⇔森駅前）
			快速瀬棚号（函館BC⇔上三本杉）
		北海道旅客鉄道㈱【JR】	七飯駅／函館本線（函館駅⇔旭川駅）（大沼駅⇔森駅）
鹿部町	鹿部駅	函館バス㈱	鹿部駅線（鹿部出張所⇔鹿部町役場⇔鹿部駅）
		北海道旅客鉄道㈱【JR】	函館本線（函館駅⇔旭川駅）（大沼駅⇔森駅）
		㈲北海道・函館moomoo-taxi	町デマンドバス（鹿部リゾート地区・出来澗地区）
	鹿部町役場	函館バス㈱	函館鹿部線②（函館BC⇔七飯⇔鹿部出張所）
			川汲鹿部線②（函館BC⇔川汲⇔鹿部出張所）
			鹿部海岸線（鹿部出張所⇔川汲⇔古部）
			鹿部駅線（鹿部出張所⇔鹿部町役場⇔鹿部駅）
		㈲北海道・函館moomoo-taxi	町デマンドバス（大岩地区・鹿部地区）
森町	森駅	函館バス㈱	函館長万部線（函館BC⇔長万部T）
			函館長万部線311系統（函館BC⇔森駅前）
			三岱線（函館BC⇔七飯⇔森駅前）
			砂原線（森駅⇔砂原東3丁目）
		森町	森町地域公共交通バス濁川線（濁川北部⇔森町SC前）
			森町地域公共交通バス駒ヶ岳赤井川線（からまつ入口⇔森町SC前）
		北海道旅客鉄道㈱【JR】	函館本線（函館駅⇔旭川駅）（大沼駅⇔森駅）
八雲町	八雲駅	函館バス㈱	函館長万部線（函館BC⇔長万部T）
			快速瀬棚号（函館BC⇔上三本杉）
		㈲八雲ハイヤー	熊石・八雲間予約バス（熊石⇔八雲総合病院）

市町名	結節点	運行事業者名	接続する路線(系統)名
八雲町	八雲駅	北海道旅客鉄道㈱【JR】	函館本線（函館駅⇔旭川駅）
	熊石バス停	函館バス㈱	檜山海岸線②（江差T⇔熊石）
		㈲東ハイヤー	予約バス「檜山海岸線」(太田⇔八雲町熊石)
		㈲八雲ハイヤー	熊石・八雲間予約バス（熊石⇔八雲総合病院）
長万部町	長万部駅	函館バス㈱	瀬棚長万部線（上三本杉⇔長万部T）
			函館長万部線（函館BC⇔長万部T）
		ニセコバス	寿都・長万部間（寿都T⇔長万部駅）
		北海道旅客鉄道㈱【JR】	函館本線（函館駅⇔旭川駅）
			室蘭本線（長万部駅⇔岩見沢駅）
江差町	江差港FT	函館バス㈱	函館江差線（函館BC⇔江差T）
			檜山海岸線②（江差T⇔八雲町熊石）
			江差木古内線（木古内駅前⇔江差病院・江差高校）
			小砂子線（江差T⇔松前町原口）
			館線（江差T⇔厚沢部町東部館・富里）
			稲見線（江差T⇔厚沢部町稲見）
			木間内線（江差T⇔厚沢部町上木間内）
		ハートランドフェリー㈱	奥尻－江差航路（奥尻港⇔江差港）
	道立江差病院	函館バス㈱	函館江差線（函館BC⇔江差T）
			檜山海岸線②（江差T⇔八雲町熊石）
			江差木古内線（木古内駅前⇔江差病院・　江差高校）
			小砂子線（江差T⇔松前町原口）
			館線（江差T⇔厚沢部町東部館・富里）
			稲見線（江差T⇔厚沢部町稲見）
			木間内線（江差T⇔厚沢部町上木間内）
乙部町	乙部十字街バス停	函館バス㈱	檜山海岸線②（江差T⇔八雲町熊石）
		㈲おとべハイヤー	予約バス「姫川鳥山以北線」（緑町⇔大岩）
奥尻町	奥尻港FT	奥尻町有バス	青苗線（BC⇔米岡新生団地）
			稲穂線（BC⇔野名前）
			神威脇線（BC⇔神威脇）
		㈲青苗ハイヤー	乗合タクシー（奥尻空港⇔役場・FT）
		ハートランドフェリー㈱	奥尻－江差航路（奥尻港⇔江差港）
	奥尻空港	奥尻町有バス	神威脇線（BC⇔神威脇）
		㈲青苗ハイヤー	乗合タクシー（奥尻空港⇔役場・FT）
		㈱北海道エアシステム【HAC】	函館－奥尻線（函館空港⇔奥尻空港）
			丘珠－奥尻線（丘珠空港⇔奥尻空港）
今金町	今金バス停	函館バス㈱	瀬棚線（上三本杉⇔長万部T）

市町名	結節点	運行事業者名	接続する路線(系統)名
今金町	今金バス停	㈲東ハイヤー	予約バス「ルンるん号」八東・白石地区(八東･白石地区⇔今金町国保病院等)
			予約バス「ルンるん号」金原・豊田地区(金原･豊田地区⇔今金町国保病院等)
			予約バス「ルンるん号」日進地区（日進地区⇔今金町国保病院等)
			予約バス「ルンるん号」田代・稲穂地区(田代･稲穂地区⇔今金町国保病院等)
			予約バス「まちなかルンるん号」(町内中心部)
せたな町	北桧山バス停	函館バス㈱	快速瀬棚号（函館BC⇔上三本杉)
			瀬棚線（上三本杉⇔長万部T)
			久遠線（北桧山⇔大成学校前)
		㈲東ハイヤー	予約バス「北檜山太櫓線」(北檜山⇔鵜泊団地)
	瀬棚市街バス停	函館バス㈱	瀬棚線（上三本杉⇔長万部T)
		㈲東ハイヤー	予約バス「瀬棚須築線」(やすらぎ館⇔須築)
		ハートランドフェリー㈱	奥尻－瀬棚航路【休止中】
	宮野バス停	函館バス㈱	久遠線（北桧山⇔大成学校前)
		㈲東ハイヤー	予約バス「檜山海岸線」(太田⇔八雲町熊石)

| 4-3 | 道南地域各市町における公共交通施策の状況

本地域の各市町では、町単独のバス路線への補助金の交付のほか、コミュニティバスや乗合タクシー、自家用有償旅客運送、スクールバス、無償バス（福祉バス・患者輸送バス）など、地域の輸送資源を総動員して、地域住民に必要な移動手段を提供すべく、各種施策を実施している。

また、公共交通の利用促進に向けて、各種取組を行っている。

表 4-21 道南地域の各市町における公共交通施策

市町名	フィーダー系統	市町村生活バス路線	市町村単独補助路線	コミュニティバス・乗合タクシー	自家用有償旅客運送		スクールバス	市町運行無償バス
					交通空白地	福祉		
函館市	○		○	○		○	○	○
北斗市	○			○		○		○
七飯町			○			○	○	○
鹿部町	○		○		○	○		
森町			○			○	○	
松前町	○			○		○	○	○
福島町	○			○		○	○	○
知内町	○				○	○	○	○
木古内町							○	○
八雲町	○			○	○		○	○
長万部町		○					○	○
今金町	○		○	○			○	○
せたな町	○		○	○		○	○	○
江差町	○		○	○		○	○	○
上ノ国町	○					○	○	○
厚沢部町			○		○	○	○	○
乙部町				○			○	○
奥尻町		○		○	○	○	○	

用語解説

地域内フィーダー系統：幹線（地域間幹線バス系統や鉄道など）と接続し、地域内の移動を支える支線の役割を担うバス・乗合タクシーなどのこと（※1）。

市町村生活バス路線：乗合バス事業者の撤退後、市町村生活バス路線運行費補助（道と市町村による協調的補助）を受けて、市町村自らが運行を行う代替バスのこと。

コミュニティバス：交通空白地や不便地域の解消のため、市町村が主体的に計画し、路線バス・乗合タクシー・市町村自らが自家用有償旅客運送の登録を受けて行う市町村運営有償運送のいずれかの方で運行するバスのこと（※2）。

自家用有償旅客運送：道路運送法第79条に基づく登録により、バス、タクシー事業が成り立たない地域における輸送手段の確保が必要な場合に、必要な安全上の措置をとった上で、市町村やNPO法人等が、自家用車（白ナンバー）を用いて旅客から実費の範囲内で対価を収受して運行する方法のこと。

市町運行無償バス：市町が地域住民などから対価を得ずに運行するバスのこと。

【出典】

※1　国土交通省九州運輸局「なるほど！！公共交通の勘どころ」
(https://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/content/000272886.pdf)

※2　国土交通省「コミュニティバスの導入に関するガイドライン」
(https://www.mlit.go.jp/ common/000193649.pdf)

地域における利用促進に向けた主な取組

＜路線バス＞

○バスロケーションシステムの活用（道南地域各市町）

○バス・市電１日共通乗車券等の発行（函館市、函館バス）

○通学定期券の補助（函館市、北斗市、松前町、福島町、知内町、木古内町、七飯町、八雲町、長万部町、上ノ国町、厚沢部町、乙部町、奥尻町、今金町、せたな町）

○高齢者や特定疾患患者への運賃助成（函館市、知内町、鹿部町、八雲町、江差町、上ノ国町、乙部町、奥尻町、今金町）

○市町ホームページでの時刻表掲載（函館市、北斗市、松前町、福島町、知内町、木古内町、七飯町、鹿部町、森町、八雲町、江差町、上ノ国町、厚沢部町、乙部町、奥尻町、今金町、せたな町）

○「江差・松前周遊フリーパス」の発行（新幹線木古内駅活用推進協議会）

○「函館バスフェスティバル」の開催（函館バス）　　など

＜鉄道＞

○「親子で参加！見て知って学ぼう北海道新幹線」の開催（北海道新幹線建設促進道南地方期成会）

○「江差・松前周遊フリーパス」の発行（新幹線木古内駅活用推進協議会）

○「はこだて旅するパスポート＆フリーパス」の発行（北海道新幹線新駅沿線協議会）

○「いさりび１日きっぷ」「いさりび１日カンパス」等の発行（道南いさりび鉄道）